

Table with columns for 事務事業名, コード, 課, 所属班, 電話番号, 内線, 161, 基本方針, 施策, 施策の展開, 基本事業, 予算科目, 根拠法令, 会計, 款, 項, 目.

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

Table with 2 columns: ① 事業期間, ② 事業の内容. Includes details on annual continuation, fiscal year, and project description.

(2) トータルコスト

Table with 2 columns: ① 事業費の内訳 (24年度の実績), ② 延べ業務時間の内訳 (24年度の実績). Includes unit prices and time calculations.

Table with 5 columns: 費目内訳, 単位, 22年度(決算), 23年度(決算), 24年度(決算), 25年度(計画). Includes sub-totals for (A) and (B).

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

Complex table mapping 手段 (Means), 目的 (Objectives), and 上位目的 (Higher Objectives) to specific activity indicators (活動指標) and their performance metrics over time.

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

Table with 3 columns: ① 開始したきっかけは何か?..., ② 事務事業を取り巻く状況..., ③ この事務事業に対して関係者... 寄せられているか?.

事務事業名	つどいの広場事業	課名	子育て支援課	班名	子育て支援班
-------	----------	----	--------	----	--------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 0～3歳未満時の保護者が集まり、相談することで安心して子育てができることは、子育て家庭が安心して産み育てることに繋がる。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 3歳未満児とその保護者が対象である。新米ママの不安を解消するなどの支援が目的であり適切である。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 行政(市)が関与することにより、中立・公正な立場で、多種・多様な子育て相談を受けることもでき、子育て世帯が利用しやすい広場となっている。
有効性 評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 交流の場の提供、子育てに関する相談援助のほか、利用者ニーズに応じた事業を行っており利用者数も増えている。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するとうか？	<input type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】↷ 私立保育園が実施する地域子育て支援拠点事業(センター型・ひろば型)と今後のさらなる連携によって、より地域性をもった活動が期待されている。立地的な条件で、公立のつどいの広場の利用ができない市民に対して利用がしやすくなることで、成果は向上する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：(旭市子育て支援センター事業、私立保育園の地域子育て支援拠点事業) (2) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ (事務事業の見直しを実施済み)H23年度旭市子育て支援センター(公立)に正規保育士を配属した。H18年度から臨時保育士のみで運営してきたつどいの広場の事業内容や将来展望を正規保育士が監修することにより子育てママのニーズにあった事業が展開できるようになった。今後やり方を工夫し向上して行く。また、私立保育園との連携を強化することで、より地域性をもった活動が期待できる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ H23年度予算の計上時に事業規模と事業内容に見合った予算とした。全額一般財源であった建物等借上料を国庫補助金の対象にするなど財源の確保も実施した。また、外部講師が必要な講座は無償で講師を引き受けていただいているため、削減余地はない。臨時保育士(3名)を任用している。開所日を3人でローテーションし、常時2名の勤務体制であり、これ以上の削減は困難である。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 臨時職員に保育士退職者を再雇用することで、兼務として子育て支援センター正職員が担っている事業内容等の監修に係る部分を再雇用職員が自ら行うことで「延べ業務時間」を減らすことができる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 市民全員(3歳未満児のいる子育て家庭等)を対象としており、公平・公正である。利用料も無料で受益者負担もない。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	H23年度に事務事業を見直したばかりである。今後も事業内容等が発展して行くように継続して見直しして行く。実施体制については、保育士退職者の再雇用による人件費の削減や私立保育園との一層の連携強化を検討する必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2～3年後を目処にした方向性	(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持																					
	低下																					
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？																						
① 平成26年度に保育士退職者の再雇用 ② 平成26年度に私立保育園との連携強化																						
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
① 臨時職員のみで事業、活動実施することに対する懸念があるが、保育士退職者を再雇用することで補完する。 ② 私立保育園が実施している地域子育て支援拠点施設と連携することで潜在的な子育て世帯の支援を行う。																						